

第87回
企画展

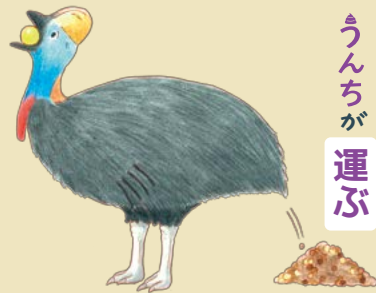


No UNCHI , No LIFE

Excrement (Poop!) - Its role and importance -



うんちを
食べる



うんちが
運ぶ

うんちから
生える



— あなたの知らない自然のしくみ —

うんち無しでは 生きられない!

うんちに
化ける



うんちで
コミュニケーション



うんちで
育てる



うんちが
つくる



イラスト/きりん

2023 7/8 → 9/18 祝

7月8日(土)の企画展公開は正午からとなります。

開館時間 午前9時30分から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日以降)

※ただし7月17日(月)・8月14日(月)・9月18日(月)は開館し、7月18日(火)・9月19日(火)・20日(水)は休館となります。

主催 ○ミュージアムパーク茨城県自然博物館

後援 ○NHK水戸放送局/茨城新聞社/アクアワールド茨城県大洗水族館/ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

次回企画展の
お知らせ

第88回企画展 **「地衣類 -木を、岩を、地面を彩る身近な生きもの-」**
2023年10月7日(土)から2024年1月21日(日)まで

土・日・祝日及び
8月14日(月)~18日(金) **事前予約制**

有料・無料問わず、すべてのお客様は、入館のためのオンライン予約が必要となります。
詳しくは、当館のHPをご覧ください。

《入館料》	一般 750円 [610円]	年間パスポート ▶ 1,570円
[]内は 20名以上の 団体料金	満70歳以上 370円 [300円]	年間パスポート ▶ 1,050円
	高校・大学生 460円 [320円]	年間パスポート ▶ 320円
	小・中学生 150円 [70円]	

※未就学児、障害者手帳、指定難病特定医療費受給者証をご持参の方は入館無料です。
※この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれています。
※毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。(夏休み期間は除く)
※7月15日(土)、9月15日(金)~18日(月)は、満70歳以上の方は入館無料です。



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700番地 TEL.0297-38-2000
ホームページアドレス <https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/>



うんち無しでは 生きられない!

—あなたの知らない自然のしくみ—

肉食動物のうんち、草食動物のうんち、鳥のうんち、虫のうんち・・・世界はいろいろなうんちであふれています。今回の企画展では、それぞれのうんちがもつ特徴を知ること、生きていく上で不可欠な「食べる」と密接に関係するうんちの奥深さに迫ります。

また、普段、あまり目を向けることがない、うんちが自然界で果たしている役割にも注目して紹介します。うんちは「臭い!汚い!」だけではありません。うんちをとおして、生き物の複雑な相互作用で成り立っている自然のしくみに目を向けてみませんか。



見どころ 1

うんちが自然界で果たす、7つの役割に注目!

「コミュニケーション」「食べる」「育てる」「運ぶ」「生える」「化ける」「つくる」。うんちの役割を剥製や映像、うんちの実物標本などから、紹介します。

コミュニケーション



うんちにおいて
情報交換するタヌキ

生える



うんちから生えるキノコ

化ける



どこから見てもうんち
そっくりムシクソハムシ

見どころ 2

さまざまな生き物のうんち大集合!

ホ乳類、鳥類、ハ虫類、両生類、昆虫、水生動物、うんち化石まで、多種多様な実物うんちを紹介。また、うんちができる場所である消化管(胃や腸)も展示します。



糞(盲腸糞)をするエゾナキウサギ



うんちをするダチョウ



アンモナイトのうんち化石

見どころ 3

うんちから生態を知る!自然のしくみを知る!

ツキノワグマの食べ物の多様さや、過酷な高山環境で生きるライチョウの生態にうんちをとおして迫ります。また、クマの糞に集まるさまざまな生き物から、自然のつながりを読み解くコーナーも!



サクラの種がたくさん
入ったツキノワグマのうんち



高山を生き抜くニホンライチョウ
(左:オス、右:メス)

展示構成

- 🍌 うんちとは
- 🍌 うんちの機能
- 🍌 うんちができるまで
- 🍌 さまざまなうんち
- 🍌 うんちから調べる
- 🍌 うんちの利用
- 🍌 人のうんちのゆくえ

特集 十糞十色

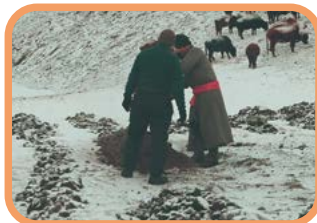
特集 うんちがつなぐ
自然のしくみ

特集 四季のうんちで知る
ライチョウの生態

見どころ 4

うんちの利用、昔と今

うんちは農作物を育てる肥料や、煮炊きや暖をとる燃料などとして人に利用されています。うんちを使った研究や、飲料、香水、薬まで、さまざまな利用を紹介します。



燃料用に集められた牛のうんち
(モンゴルの遊牧民の生活)



交通案内

<車利用の場合>

- ★常磐自動車道 谷和原I.C.から20分
- ★首都圏中央連絡自動車道(圏央道) 坂東I.C.から25分

<鉄道・バス利用の場合>

- ★東武アーバンパークライン(野田線) 愛宕駅下車
- ★茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車
- 「自然博物館入口」下車、徒歩15分 [バスは1時間に1本程度]
- ※公共交通機関を利用される方は、事前にお時間を確認の上お越しください。
- ★つくばエクスプレス・関東鉄道常総線 守谷駅下車
- ★関東鉄道バス「岩井バスターミナル行き」乗車
- ★茨城自動車道 守谷IC下車、徒歩10分 [バスは1日に3~4本程度]
- ※土日祝日は博物館内への乗入れバスが1日3本運行。